

市議団ニュース

連絡先 2019年10月27日号
杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です



「氾濫危険水位」の利根川

台風19号による利根川決壊の恐れ 初の避難勧告！市民9千人が避難！

台風19号は全国で大きな被害を出し、久喜市でも荒川の氾濫、利根川では決壊の恐れがある「氾濫危険水位8.9m」を超え、最大961mに達しました。久喜市でも初めて「避難勧告」が発令され、職員の皆さんや自発的に頑張られた区長さんなど、徹夜の対応となりました。心から感謝を申し上げます。今回の経験は、避難のあり方など多くの課題も明らかになりました。市民の皆さんからの声、現場での実態から見えた問題点を報告します。今回の経験を検証し、久喜市、市民も共に考え、今後に備える一助になればと思います。

台風19号に伴う対策本部からの発令

【防災無線メール から抜粋】

荒川・ 菖蒲地区【菖蒲地区のみ放送】

12日 15:51【警戒レベル3】

避難準備・高齢者等避難開始

利根川・ 久喜・栗橋・鷺宮地区

13日 1:00【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始

13日 2:00【警戒レベル4】避難勧告

緊急放送、警戒レベル4、避難開始。利根川が、氾濫するおそれのある水位に到達しました。速やかに全員避難を開始。避難所は、市内の小中学校を開設しています。

市の災害情報 防災無線は機能したか

◆避難勧告発令は、真夜中の2時で、風雨が激しく雨戸を閉め「まったく聞こえなかった」との声が圧倒的です。広報車が来て知ったという方も多かったです。結果的に「避難勧告」の情報を得ることなく「避難」に至らなかった方が多くいました。

◆防災無線情報メールは

情報メールを見るには、スマホ・パソコンを持ち登録も必要です。高齢者などメールからの情報取得は困難でした。久喜市のホームページの発信も、「避難勧告発令」はありません。

久喜市避難者数の状況

避難勧告発令中 13日 6時現在
市内の小中学校 34箇所

◆久喜地区	14箇所	合計	1957人
◆菖蒲地区	7箇所	合計	155人
◆栗橋地区	5箇所	合計	4899人
◆鷺宮地区	8箇所	合計	1685人
◆自主避難所	8箇所	合計	283人
総避難者数		合計	8979人

学校など避難所は ちゃんと機能したか

◆避難所開設は「拠点避難所」「補助避難所」である小中学校が開設されました。しかし、「栗橋北彩高校」の開設は5時30分頃で、避難者が向かった時は閉鎖のままでした。総合体育館への誘導がありました。歩いて来た方には無理でした。栗橋小学校には1688人が避難、入りきれない事態でした。

◆避難所の状況は

小中学校の2階以上に避難。歩くのが困難な方にとって階段は困難でした。トイレが和式で我慢する方も多かったです。ペットと一緒に避難された方も多く、赤ちゃんやアレルギーの方とは教室を分けたかったが、栗橋小学校では空いている教室はありませんでした。

自衛隊を中東など海外に派兵 しないことを求める意見書

日本共産党提出

政府は中東のホルムズ海峡などへの有志連合構想について「参加を含む総合的対策を検討している」としていますが、自衛隊の派兵は武力衝突の危険性を常にはらんでおり、やるべきではない。

採決の結果は【否決】

市民の政治と日本共産党が賛成（7名）
川辺美信議員・平間議員が賛成討論

【賛成討論】（要旨）

今回の有志連合は、米軍が全体の統制指揮を行い、日本が有志連合に参加すればイランなど中東諸国に対する敵対行動となり、ホルムズ海峡周辺で武力衝突が起これば、日本が中東でのアメリカの戦争に巻き込まれるおそれがあります。

日本はこれまでイランと良好な関係を築いてきており、憲法9条の理念や、日本の中東での信頼を活かしながら、対話と外交による平和的解決を目指すべきです。

10月18日政府対応は

海上自衛隊の艦船



*政府は有志連合には参加せず、自衛隊派遣の検討に入りました。しかも「調査・研究」を派兵の根拠とし国会承認も必要ない手法です。これを繰り返せば、自衛隊派遣は歯止めを失います。しかも、有志連合に入らなくても、アメリカと情報を提供し合うことで、アメリカと一体の軍事行動をとることは間違いありません。

中東危機の原因は、トランプ大統領がイラン核合意から一方的に離脱したことです。日本政府がやるべきことは自衛隊派遣でなく、緊張を緩和する外交努力、イラン核合意に戻れと発信することです。

平間ますみ

久喜市本町8-4-1



住宅リフォーム助成制度の創設を

毎年要望している事業ですが、前市長は「個人の財産価値を高めるものであり考えていない」と、まったくその内容を理解することのない回答を繰り返してきました。制度の創設は、業界団体からも強い要望として出ています。地域経済の活性化に必ず結びつく制度の創設に向けて取り組むよう改めて要望しました。

問 久喜市の進める「既存建築物の耐震化補助事業」と住宅リフォーム助成制度は全く性質の違うもの。すべての建物を対象とした本制度を創設すべき。

答 現在の事業を進める。住宅リフォーム助成制度は考えていない。

◆これまでと全く変わらない回答で、市民の要望に背を向けるものです。

市道の危険ブロック塀対策について

問 通学路を含め、市内市道部分の危険なブロック塀の対応はどのようにしているのか。

答 これまでの調査で発見した危険な箇所については、所有者に説明し対応して頂いている。

石田としはる

久喜市栗橋東5-7-2



液状化対策推進事業の進捗や対策の効果は

問 南栗橋液状化対策、東日本大震災と同様の地震が来ても、液状化は起きないことを目標値とした。その効果は達成されているか。

答 観測結果は想定範囲内で、現時点でその効果が達成されている。

問 モニタリングは将来にわたって継続していくべきと考えるが。

答 液状化対策検討委員会において判断していきたい。

問 「事後調査」下水道など丁寧な聞き取り調査が求められているが。

答 今後、宅内の汚水柵の測定など丁寧な対応に努めてまいりたい。

主張 「不同沈下」があるところは、最終柵の調査をしていただきたい。

公共交通の利便性向上が求められている

問 デマンドタクシーの実験結果「有効性が確認できた」としている。

2020年度以降も継続をするのか。継続の場合は、旧久喜市内のみか。

答 2020年3月31日以降は、公共交通会議において協議していく予定。

問 済生会栗橋病院が加須市に移転する。加須市と連携を進めるべき。

答 同病院の移転による影響、加須市の運行内容など注視していく。

問 デマンド交通、予約センターへの電話は、フリーダイヤルにすべき。

答 利用者の負担が軽減しサービス向上となる。調査研究していく。

問 フリーダイヤル、どれぐらいの費用がかかるのか。

答 5,000円から1万円ぐらいになる。

主張 問 微々たる金額だ。研究段階ではない。実施に踏み出すべき。

9月議会での一般質問（後半）市民の願いは切実です！

杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504



大雨冠水対策の推進を早急に求める

問 冠水対策が計画され、改善は進んできているのか

答 29か所のうち、5か所で排水ポンプの設置や、道路のかさ上げなどの対策が実施された。

問 29か所というが、実際の冠水はもっと多いのではないか。残りの24か所はどうするのか。

答 そのうち3か所は調査をしていて21か所も進めていく。

問 特に久喜地域の下流部である幸手市、杉戸町との対策協議をお願いしてきたが、現状はどうか。協力ができているか。

特に浸水がひどいわし宮団地の銀の笛幼稚園まへの対策は

答 いま、埼玉県と河川・下水道事業調整協議会を立ち上げた。

これで幸手市の協議会と連携を図っていきたい。わし宮団地周辺は周辺の排水施設の状況調査の上で対策を検討していく。

桜田2丁目テニスコートのフェンス強化をもとめる。

問 テニスのプレイ中にボールが周辺の民家に飛び込み、問題になって要る。無用なトラブルを防ぐには、フェンスを高く、強化するしかない。費用はどれくらいと視ているのか。

答 更新費用として約750万円ほどだ。

問 課として予算要求を出したのか。なぜ財政は却下したのか。

答 ほかの施設の工事・更新の関係で優先順位を判断した。

渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3



問 5月に起きた梨の降雹被害の防雹ネット補助等や経営持続可能な支援を早急にすべき

答 県に要望は出したが、その後の確認をしたところ検討中とのことだった。梨農家の営農継続支援については生産者団体の意向を聴取し検討していく。

問 菖蒲運動公園が全面使用開始となる。木陰となる植樹とトイレの増設をして欲しい。利用スポーツ種目も拡大して欲しい

答 今後はシラカシなど30本植樹、パーゴラベンチを予定している。トイレは3か所になる。様々なスポーツができるようにさせたいがローラースポーツは難しい。

問 北中曾根地市道久喜1182, 1040号線の舗装整備が進む状態であったのに、途中中断されてしまった。早急に整備すべき

答 平成25年に用地測量をし、用地買収、物件補償を進めてきた。現在用地の一部に課題があり、取得に時間がかかっているが進めていく。

問 さくら通り横の備前前堀川は、現在雑草と立木がひどい状況。台風の越水も考えられる。早急に浚渫すべき。また、大型車両が増えている12号線とさくら通りの交差点の橋は、自転車と歩行者の通行が不可能に近い。橋の拡幅、もしくは歩行者用道路の建設をすすめるべき。

答 浚渫は下流から順次進めていて、状況確認の上、実施予定と聞く。橋梁拡幅整備は引き続き要望していく。